

第2回 裾野市水道事業審議会・裾野市下水道審議会 議事録【要旨】

- I 日時：令和元年10月21日 午後2時00分～午後3時45分
- II 場所：裾野市役所 第1委員会室
- III 出席委員：9名（順不同）1名欠席
佐藤裕弥委員（会長）、渡邊康一委員（副会長）、三明正明委員、増田喜代子委員、西島奉行委員、寺嶋勝俊委員、柏木道子委員、阿部征雄委員、服部敏淳委員
- IV 事務局（市側）出席者：9名
鈴木環境市民部長、細井水道事業管理監兼上下水道経営課長、中野上下水道工務課長、勝又上下水道経営課長代理、服部主幹、芹澤係長、鎌野主査、眞田主任、大橋主事
- V 傍聴者：9名
- VI 次第
- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 講 話
「上下水道料金の基本的な考え方」について
講師：松本 稔 様（元埼玉県企業局）
 - 4 議 事
 - (1) 審議会の非公開について
 - (2) 台風19号の影響と水道料金及び下水道使用料金の考え方について
 - (3) 裾野市水道料金算定基準について
 - (4) 裾野市下水道事業経営戦略案に関する財政計画について
 - (5) その他
 - 5 その他
 - (1) 水道事業審議会の日程について
第3回 12/2、第4回 2/13
 - (2) 市長への答申
2月下旬を予定
 - 6 閉 会

VII 議事録

- (1) 【審議会の非公開について】：事務局案を説明し委員質疑なし。下記のとおりとなる。
今回の会議は公開し、議事録は要旨公開とする。
- (2) 【台風19号の影響と水道料金及び下水道使用料金の考え方について】：資料9を用いて会長及び事務局より説明。事務局からは、特に応援要請について説明し、台風19号により被災した近隣市町への応援体制などを具体的に説明。
委員からは特に質問等なし。
〈会長〉災害については、自治体相互の応援体制が確立されている。万が一のことを考え、事業経営をしていかなければならない。
- (3) 【裾野市水道料金算定基準について】：事務局より資料2を用いて説明。
〈委員〉この算定基準には災害についても含まれているのか。
〈会長〉水道料金としてどこまで折り込むのかという意見である。基本的に自然災害の発生日は予知できないため、合理的な計算をもって料金を納めてもらう事が出来ない。このため、資産維持費につ

いては、適正な率をもって決めなければならない。

次回に数種の率を事務局より提示し、検討のうえ確定する。

〈委員〉自然災害の事を考慮し、内部留保金はどの程度必要か。

〈会長〉給水収益一年分である。これを確保するには料金値上げという負担を生ずる可能性が高い。また、資産維持費の設定と関係してくるので、自然災害を考慮した内部留保金については次回審議とする。

水道料金算定基準についてはよろしいか。

〈委員〉異議なし。

(4) 【裾野市下水道事業経営戦略案に関する財政計画について】事務局より資料3を用いて説明。

〈委員〉アクションプランベースの建設改良費について、令和9年度から8,400万円に下がっているのはなぜか。また実績ベースは4億円程度で続くのか。

〈事務局〉アクションプランの計画は令和8年度までのため、下がる形となり、実績ベースは、現状のペースで積算しているので、令和17年度までかかる見通しである。しかし、アクションプランは令和3年に見直す予定であるので、現実的な見直しができると思われる。

〈委員〉補助金について、記載のない年があるがいかかか。

〈事務局〉予定している工事において、補助対象となる工事とそうでない工事がその年により違うためである。

〈会長〉事務局より①面整備APベース、②面整備実績ベースの2種類のどちらに基づき策定するか審議会に問題提示された。

ここでいろいろと重要な論点は含まれている。

例えば令和11年度の純利益において、アクションプランベースは、プラスだが、実績ベースは、マイナスで赤字である。

下水道使用料の適正化を考える場合、どちらの事業をもとに算定していくのか。その場合、リスクとは台風被害など、自然災害のことを考え黒字の方が望ましい。このため、アクションプランベースよりも実態に近い実績ベースの方が望ましいと言える。また、将来の裾野市の下水道事業の健全化を考えるベースとしての資料は、実績ベースの方が極めて現実的保守的な資料になっていると思われる。

〈委員〉事業経営をしている立場から考えると、計画どおりに進行していない場合は、修正をする。計画通りにいかなければ修正すべきである。

〈会長〉事務局への要望を加える形で、

① 今後の下水道使用料の適正化に関する数字の検証にあたっては、実績ベースを中心に検討すること。

② 将来のアクションプラン改定時は、本日の審議の結果を踏まえ、より堅実的な改訂版の策定を要望する。

③ 今後必要に応じ市民の皆さんに説明等し、可能な限りアクションプランベースは現在の方針だがこの実績ベースと合わせ、確実に伝わるよう市の活動の中で活かすこと。

以上を要望し、この審議会としては実績ベースで下水道使用料の適正水準を検討することで良いか。

〈委員〉異議なし。

(5) 【その他】事務局より添付資料について説明。会長より補足説明。

〈会長〉他になければ、以上で議事を終了する。